

小松節子の
ハートフル
メッセージ



サンフレの東広島後援会長として

2020年にJ1のサンフレッチェ広島・東広島後援会長に就任したのが縁で、今年はサンフレッチェ広島のゲームを3試合ほど生で観戦。サッカーのだいたい味に触れました。

印象に残っているのは、10月22日に国立競技場で行われたJリーグカップ・決勝戦のセレッソ大阪戦です。終了間際に立て続けに点を挙げ2対1で逆転勝ち。初めてのJリーグカップ優勝に、鳥肌が立つほどの感動を覚えました。

東広島後援会で、2台のバスを貸し切り、エディオンスタジアムで10月初旬に行われたJ1リーグ戦の浦和レッズ戦も心に残っています。4対1の快勝に、ツアーで一緒に観戦した約50人の市民の方と喜びを分かち合うことができました。

サンフレッチェ広島の試合を見て感じたのは、選手たちが組織でプレーしていることや、最後の最後まで試合をあきらめない姿勢です。経営にも相通じるものがあり、感銘を受けました。ミヒャエル・スキッベ監督の的確な選手起用にも、人材登用の側面から大いに勉強になりました。

自治体単位でのサンフレッチェ広島の後援会は東広島しかありません。会員数を増やしたり、バスツアーを充実したりしながら、サンフレッチェ広島の支援を東広島から発信していきたい、と思っています。（メントックワールド社長）